

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	51		2	個別支援の部屋が小さく入りにくいと思う。基本的に座って訓練を受けるので個室で十分。体を動かすときには大きい部屋に移動させてもらえる。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	53			言語聴覚士が複数名在籍している。
	3 事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	43		6	3 玄関に続く階段の段差が大きく子供には上りづらい。階段手摺有り。玄関段差無し。トイレや各部屋も段差無し。建物入口自動ドア。階段が急。2階に上る階段の暖の高さが大人向けで子供には歩きづらい。玄関に小さい椅子があると靴が履かせやすい。
	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	53		1	客観的かつ専門的に作っている。
保護者への 説明等	5 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	50		2	具体的に設定されている。
	6 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	53			計画に沿って支援されている。
	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	49		3	子供の興味・発達に合わせて毎回様々なプログラムがある。10か月通ってもまだ初めて見る訓練が度々登場する。
	8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8		14	13 ないがなくて良い。横のつながりが無い。
保護者への 説明等	9 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	54			契約時に丁寧に説明してもらった。
	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	53		1	
	11 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	33		8	1 色々なテーマで講習会を開いて欲しい。日々の訓練の合間に家庭で取り組める工夫を教えてもらっている。無理なく家での課題を伝えてくれるので分かりやすい。
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	52		1	以前に比べこういう面が伸びている等の話が聞けたり発達を促すアドバイスが聞けて有難い。STからは訓練での所見、親からは園や家庭での様子を伝え課題を共有している。
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	46		3	集団療育では聞きづらいことも個別で質問できる。訓練の合間に沢山助言を貰えるので助かっている。
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2		12	14
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	47		2	いつでも相談しやすい雰囲気。
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	52			子どもに視覚で分かりやすく意思疎通を図る等配慮がある。事業所、保育園、学校に何度も同じ説明をするため出来れば一回の説明で済むようにしてほしい。
17 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20		17	4 ホームページやパンフレットで活動の内容を見ることが出来る。今後取り組みがなされたらうれしい。	
18 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	50		1	されていると感じる。	
非常時等の 対応	19 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	37		12	
	20 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11		24	2 訓練をしているのだから知る機会がない。
	21 子どもは通所を楽しみにしているか	47		3	毎回楽しみにしている。気分にもうがあるが概ね楽しみにしている。

個別訓練の部屋はお子さんが集中して物事に取り組みやすいよう配慮した造りになっています。大きな動きを行う際は広い部屋で活動を行っています。

玄関には子ども用のいすを準備しましたので、ご自由にお使いください。階段については今後エレベーターの導入を検討中です。

当施設は個別訓練に特化しているため、交流等の機会は設けておりませんが、今後必要があれば検討していきたいと考えています

今後保護者の方から希望テーマ等を聞き取り、コロナ禍においても発信できる方法を検討していきたいと考えています

今後会報の作成を検討しています。

年に二回(6月と12月)に避難訓練を行っています

満足度	22	事業所の支援に満足しているか	52	2	<p>子供のやる気にムラがあり上手く取り組みない時も根気強く優しく対応し成長と一緒に喜んでくれるのが有難い。親が気づけない所を助言してもらえるのが有難い。いつも温かく親子共に支援してもらい感謝している。褒めて伸ばすスタイルがうれしい。</p> <p>担当のSTが途中で変わった時少し戸惑ったのであるべく同じセラピストが良い。</p> <p>子供が楽しみながら苦手なことに挑戦できるよう工夫がされている。家での課題も明確なため取り組みやすい。</p> <p>効果が実感しにくい。</p>
-----	----	----------------	----	---	--

お子様が安心してやすいように主に担当STが訓練を行っておりますが、スケジュール変更等で担当者が変わることもございます。そのため職員全員でお子様の状況を把握し、どのセラピストでもお子様の訓練に対応できるよう、日々カンファレンス及び情報共有を行っています。お子様一人一人の成長につながるよう今後も努めていきたいと考えています。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。